

備前市施策評価シート

【平成31年度作成】

施策名 (小項目)	河川改修・砂防施設整備	決算書 P158	(款)8 土木費 (項)3 河川費
コード	04-05-17	作成者	建設課長 淵本 安志 (tel 64-1833)

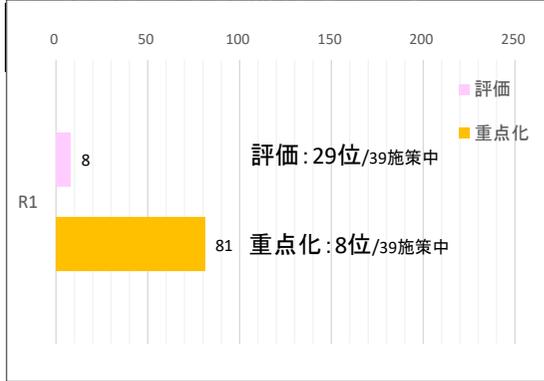
この施策の アピール ポイント	大雨による洪水・土砂災害から市民の生命・財産を守る。
-----------------------	----------------------------

この施策の 平成30年度の 施政方針	河川改修・砂防施設整備につきましては、近年の異常気象による集中豪雨などの災害に備え、国、県とも連携し、河川、急傾斜地などの整備を進め防災機能の向上を図ってまいります。
--------------------------	---

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想(大項目)	土台となる政策「安全・安心」
	基本計画(中項目)	安全に暮らせるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民の生命・財産を、洪水・土砂災害から守る。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市では、これまで台風による集中豪雨や高潮による大災害を経験してきましたが、河川、砂防対策を行ってきた結果、一定の効果上げています。しかし、河川について、未整備の河川護岸が残っているほか、海沿いの低地では、高潮対策のための水門・フラップゲート(※)等の設置を進めている一方で、内水(※)の排除が引き続き課題となっています。また、急傾斜地・土石流危険渓流など、土砂災害のおそれのある箇所については、県が区域の指定を行った上で地区ごとに説明会をおこなっています。今後も、国や県、関係機関連携のもと、河川の浚渫(※)をはじめ砂防対策を推進し、災害に強いまちづくりを進めていく必要があります。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的かつ円滑な施設整備 急傾斜地等の整備促進 内水排除の事業化 景観への配慮 国・県への要望強化 災害等緊急時における関係機関との連携強化 	

⑤ 市民意識調査による施策の評価・重点化



評価結果の分析	近年の異常気象による集中豪雨などにより住民の防災意識は高まっています。しかし、未整備の河川、海沿低地での内水排除などの整備が残されていることなどにより低評価となっているものと考えられます。
---------	--

重点化要望の分析	例年、岡山県管理河川の浚渫要望は多くあるものの、浚渫土の処分場所の問題から事業が行われていない状況が続いています。早期に処分場所を確保し事業を進めていく必要があります。
----------	--

⑥ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H28	H29	H30			R2	R4
河川改良箇所	目標	9	9	9	年度ごとの改良箇所数	R2	10	
	実績	7	4	7		R4	10	
	達成率	77.8	44.4	77.8				
	ベンチマーク							
市民からの要望への対応	目標	75.0	75.0	75.0	改良・修繕箇所数/要望箇所数 26箇所/56箇所	R2	80	
	実績	82.0	67.0	46.4		R4	80	
	達成率	109.3	89.3	61.9				
	ベンチマーク							
河川清掃ボランティア参加団体数	目標	20	20	20	参加団体数	R2	20	
	実績	19	17	17		R4	30	
	達成率	95.0	85.0	85.0				
	ベンチマーク							
河川清掃ボランティア団体活動実施回数	目標	60	60	60	活動回数	R2	60	
	実績	56	47	53		R4	90	
	達成率	93.3	78.3	88.3				
	ベンチマーク							

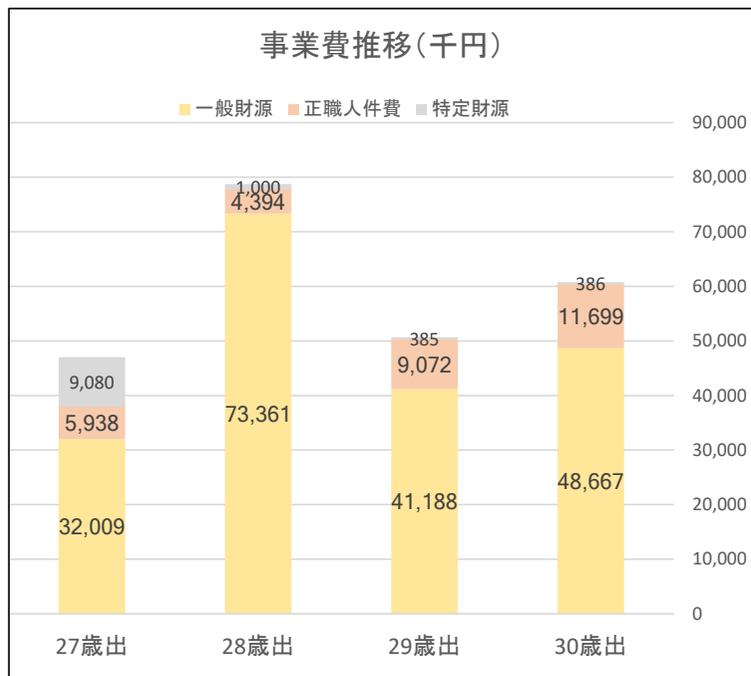
⑦ 目標達成に必要な新規事業(施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
国・県	それぞれの管理区間との連携	連携を密にすることにより、効率的整備と効果の早期発現が期待できコストも縮減できる

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	河川改良箇所は、災害防止のため整備を進めて行くうえで直接成果を表す指標。修繕要望に対する実施率及びボランティア参加団体数は維持管理上の指標として妥当である。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4	防災機能の向上及び被災したものの復旧など河川機能の改良と維持には掲載の各事業の他に手段はないと思われ最適である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	不確定な要因が多く目標達成は厳しいが、着実に整備を進めていくことにより、中長期目標はできると見込んでいる。	
進行年度(H31年度)の取組内容 (課題解決状況)		継続中の改修工事を優先的に進めていく。県管理河川についても改修要望と調整を十分に行い早期完成を目指す。また土砂堆積の著しい河川について浚渫を実施できるよう浚渫土の処分場所確保の調整を進めていく。	
翌年度(R2年度)の取組目標		引き続き継続中の改修工事を進めていくとともに、県管理河川についても早期完成を目指し強力を要望していく。ボランティアや地元関係者と連携し、現状の把握や適切な維持修繕に努める。また浚渫土の処分場所の建設に着手できるよう準備を進めていく。	
二次評価者コメント		市管理河川の浚渫は、堆積状況や危険度を判断して進めて下さい。市の残土処分場についても引き続き、関係者と協議を慎重に進めてください。県管理河川の改修、浚渫は、事業が進められるよう県との協議、要望に努めてください。	基本施策への貢献度 4 やや高い

施策評価シート(裏面)

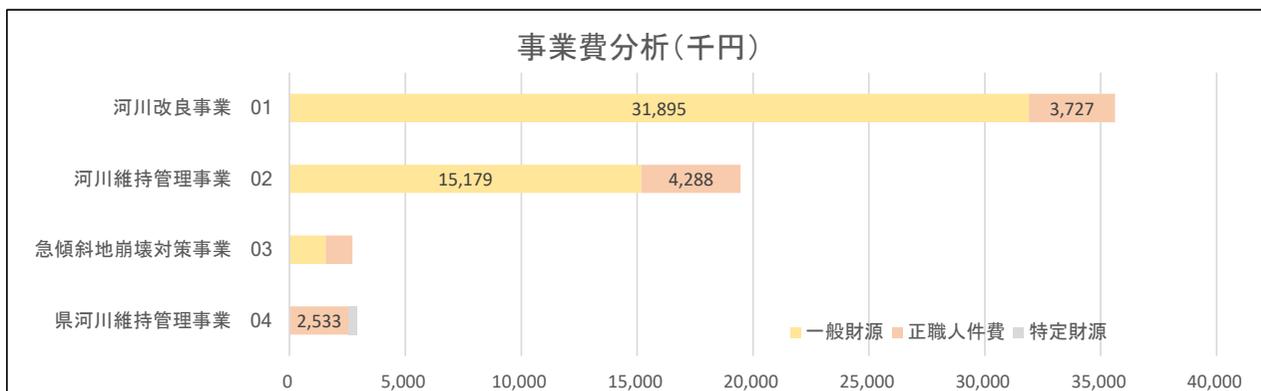


事業費

0.6 億円

特定財源

0.0 億円



5 主要河川(1級及び2級河川)

(単位: m) 平成29年3月31日現在

河川名	水源地名	流末地名	全長	備考
1級河川				
吉井川	苫田郡鎌野町	岡山市	133,273	海に至る 国交省管理
香登川	備前市香登本	瀬戸内市	7,948	千田川の合流点まで
金剛川	備前市三石	和気町	17,000	吉井川の合流点まで
船坂川	備前市三石	備前市三石	2,300	金剛川の合流点まで
五石川	備前市三石	備前市三石	2,200	金剛川の合流点まで
奥谷川	備前市野谷	備前市野谷	1,200	金剛川の合流点まで
八塔寺川	吉永町多麻・加賀美	吉永町吉永中	18,150	金剛川の合流点まで
大藤川	吉永町都留岐	吉永町都留岐	3,000	八塔寺川の合流点まで
金剛川放水路	備前市三石	備前市野谷	2,001	金剛川の合流点まで
2級河川				
馬場川	備前市伊部	備前市浦伊部	600	海に至る
新田川	備前市浦伊部	備前市浦伊部	480	海に至る
伊里川	備前市関谷	備前市穂浪	4,900	海に至る
大谷川	備前市善山	備前市友延	4,964	伊里川の合流点まで
長谷川	備前市善山	備前市善山	465	大谷川の合流点まで
持手川	備前市八木山	備前市木谷・伊里中	1,800	伊里川の合流点まで
石谷川	日生町寒河	日生町寒河	1,950	海に至る
西谷川	日生町寒河	日生町寒河	965	石谷川の合流点まで

岡山県管理 (※香登川の一部区間は備前市管理)

備前市管理